

## 2. 2006年度の重点目標

### 1) 診療報酬引き下げへの対応

DPCを含む大幅引き下げによる影響を最小限にいとめ安定経営を行うため、次のような施策を実施する。

手術室に重点配置した看護師の教育を強化し、6月から手術室の受け入れ体勢を20%増強する。

6月からPET-CTセンターを稼働する。PETドックもスタートする。

Kタワーの室料を2,000円程度引き上げる。

薬価の引き下げに対応し、薬剤や診療材料関係の会社に協力を要請し、材料比率の適正化をはかる。

### 2) Kタワーのオープン

2006年度、Kタワー全稼働を目指していたが、看護師の充足度、手術室の充実の急務などの観点から、1フロアのオープンにとどめることとした。残り1.5フロアのオープンは2007年度に送る。

### 3) 診療圏拡大への取り組み

C棟跡地にバスの駐車スペースなどを整備し、東京駅から1日約20便のバスの誘致をはかるなどアクセスの改善を行う。ヘリ救急については、引き続き常駐への道を模索する。また、幕張クリニックの外来機能を拡充するとともに本院との連携強化をはかる。

### 4) 医師卒後研修の強化

従来後期研修は各科が自主的に行っていたが、今年度から後期研修についても病院をあげて質の向上をはかってゆく。家庭医の教育プログラムについては、今年度6月から館山に家庭医中心のクリニックを開設し、より実践的なものとする。また、後期研修卒業者たちの進路相談などにいつでも応えられるよう、キャリアサポート室の充実をはかる。

### 5) 良質且つ充分数の看護師の確保

本年度から基準看護として新たに1.4対1看護というより厚い基準が設けられた。このことにより看護師の確保は厳しさを増すことが予想される。年度初めからの積極的な対応を行い、充分且つ良質な看護師の確保を目指す。

### 6) 中長期マスタープランの策定

本年度に学校法人設立なども視野にいれた中長期マスタープランの概要を策定する。

文責：亀田隆明